

せとうち美術館ネットワーク 特別講演会 2016



美術館教育へのアプローチ  
～ワークショップほかHands-On, VTS, AL…手法を探る～  
2016.11.27

前田ちま子

# 項目

- 1 ニューヨーク近代美術館 (MoMA=Museum of Modern Art)  
ビクトル・ダミコ：ワークショップ Workshop
- 2 対話型鑑賞法 VTS = Visual Thinking Strategies  
ニューヨーク近代美術館
- 3 こども博物館：ハンズオン Hands-on  
Interactive Approach: Hands-on + Minds-on
- 4 こどもの城：ワークショップ=展示・体験・制作
- 5 博学連携：初めて出会う作品への興味と関心
  - ・博物館、美術館、児童館、回想法センターなど他機関の交流
  - ・雑録的観察眼+動的鑑賞学習
- 6 アクティブ・ラーニング：Active Learning
  - ・ワークショップの企画
  - ・英語による美術の学習および美術による英語の学習方法  
ーワークショップ環境における協同学習の視点からー

## 6 アクティブ・ラーニング：Active Learning

# アクティブ・ラーニング

- 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。
- 課題を見つけ、解決に向けて探究し、成果を表現するまでの過程を、学ぶ側が主体的に行う学習方法のことを指す。
- 具体的には、発見学習、体験学習や調査学習、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど…。

ワークショップ、ハンズオン展示など美術館・博物館の学習手法はアクティブ・ラーニングとして捉えることができる。

「英語による美術の学習および美術による英語の学習方法」  
ーワークショップ環境における協同学習の視点からー  
名古屋芸術大学の事例から

- 中学生英語程度の学生も少なくないが英語のみの授業。
- 教室内に日本語を話せるエリアを設けておく。
- 二人一組からグループワークへ発言の場を流動的にする。
- 小グループ内で自己紹介からはじめ、小グループ内で学生個々に作品紹介を試みる。
- 対話型鑑賞法（VTS）を取り入れ、作品の中から気づいたことを話す。
- 小グループ内で自分の作品紹介を英語で試みる。
- その後ギャラリートーク形式にし、他の学生から質問を受け答える。
- コラージュ制作を入れるときもある。
- オーラルを中心に、自分の作品についてはライティングでまとめる。
- 最終的には、自己紹介、作品写真、私の好きな作品と自分の作品の写真と英語での紹介文を作成し、Illustrator/PhotoshopでA3サイズにまとめる。
- 最後に、展覧会形式に制作物を掲示し、学芸員として自分の作成物の前でギャラリートークをする。

Take a minute to  
Look at this picture.

What's going on  
in this picture?\*

What do you SEE  
that makes you  
say that?

What more can  
we find.

Paraphrase.  
Point.  
Link.

GRADE 6



最後に

20世紀には市民参加の美術館・博物館としてさまざまな手法やコンセプトが海外から伝えられた。

- 教育普及というソフトウェア(Education からLearning)
- 参加体験型の展示を伴うインタラクティブ・アプローチ：  
ハンズオン、マインズオンHands-on & Minds-on
- 対話型鑑賞学習 (VTS=Visual Thinking Strategies)
- エンターテインメントと教育を融合させたエデュテインメント  
(Edutainment)
- ワークショップ (Workshop)  
相互交流を基本にダイナミズムを伴う主体的な活動
- 批判的思考 (Critical thinking)
- 行なうことによって学ぶ (Learning by Doing)

21世紀の美術館はみんなが幸せに生きるために地域・ジャンルを超えて参加者ととともにさまざまな試みをしていく機能的な場になることが必要なのかもしれない。





今日、芸術が人間の生存に欠かせないものだとは私は思う。軍事力が世界の平和を維持することはできない。それは世界の指導者にとって明白なことであり、私たちすべてにとってもそうであるべきなのだ。私たちは、美術教育の基本的な目標である、人間とその人間の精神の両方を尊重する、人の兄弟愛を信じる信仰によって、私たちの生存を確保することができるのだ。

ビクトル・ダミコ 1960

- 1 ニューヨーク近代美術館 (MoMA=Museum of Modern Art)  
ビクトル・ダミコ：ワークショップ Workshop
- 2 対話型鑑賞法 VTS = Visual Thinking Strategies  
ニューヨーク近代美術館
- 3 こども博物館：ハンズオン Hands-on  
Interactive Approach: Hands-on + Minds-on

※講演では時間の都合により下記の詳細は省略させていただきました。

- 4 こどもの城：ワークショップ=展示・体験・制作
- 5 博学連携：初めて出会う作品への興味と関心
  - ・博物館、美術館、児童館、回想法センターなど他機関の交流
  - ・雑録的観察眼+動的鑑賞学習
- 6 アクティブ・ラーニング：Active Learning
  - ・ワークショップの企画
  - ・英語による美術の学習および美術による英語の学習方法  
ーワークショップ環境における協同学習の視点からー